

### 3-19 B.M.9338 周辺の重力異常

#### Gravity Anomaly near B.M.9338

静岡大学 檀原 毅

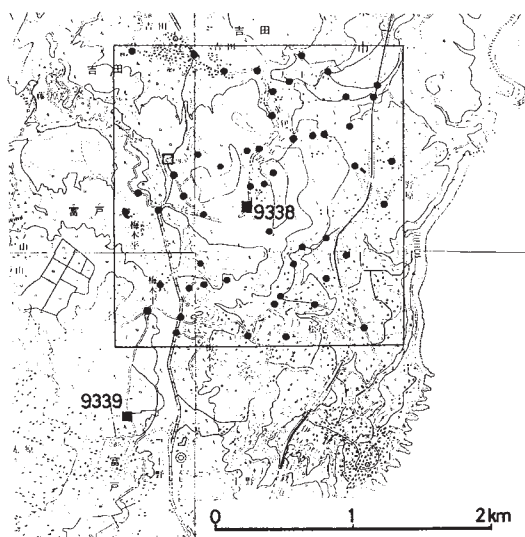
Takeshi DAMBARA, Shizuoka University

伊東市南方約 6km の 1 等水準点 9338 号の異常隆起は、国土地理院によって報告されている<sup>1)2)</sup>。この水準点の標石は 1973 年 2 月に、東方へ約 500m 移転されているが、新旧の標高は約 6m の違いがある。移転の際の取付作業の問題はなさそうである。

この新水準点は、梅の木平の爆裂火口底にあり、火山活動と関連した隆起も考えられる。そこで、ウォルドン重力計により、この水準点周辺約 50 点(第 1 図)の重力測量を行ない、ブーゲ異常を求めてみた(第 2 図)。観測の基準には、1 等水準点 9337 ~ 9340 を使った。第 2 図の異常図の範囲は、第 1 図の四辺形に一致する。第 3 図は、緯度 34° 55' 05" から 5" おきに 25" までの東西方向の地形(細線)およびブーゲ異常(太線)の断面を示す。問題の水準点の新点は、ブーゲ異常の正の山より東方にはずれたところにある。また、ブーゲ異常の正の山が、地形と一致しないことも明らかにわかる。なお、南方の松尾地区の 2, 3 点で、周期 10sec, 全振幅 0.4  $\mu$ gal の極めて明瞭な脈動が見られたことを付記する。

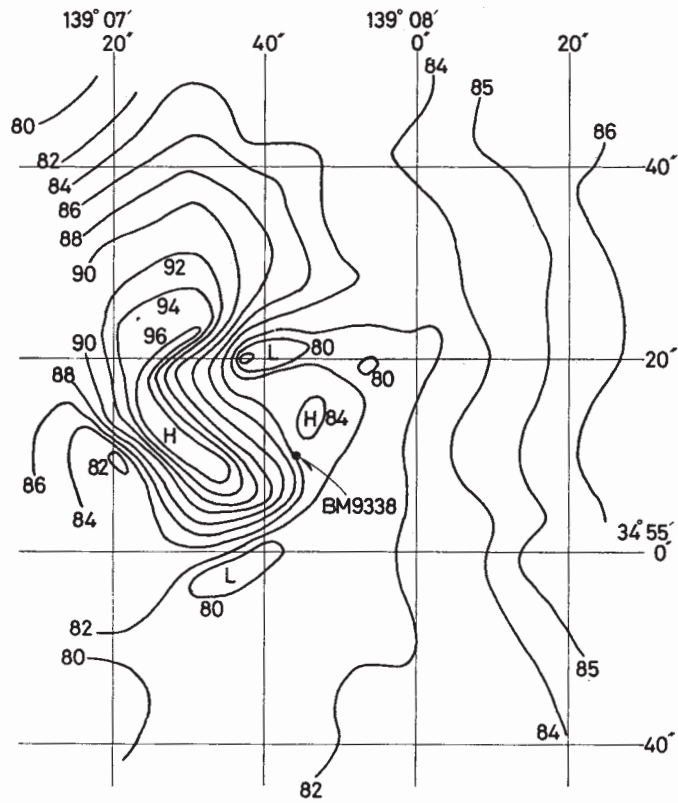
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：伊豆半島の上下変動，地震予知連絡会会報，第 12 巻，51，1974.
- 2) 国土地理院：伊東市 - 大磯市間の上下変動，地震予知連絡会会報，第 14 巻，62，1975.



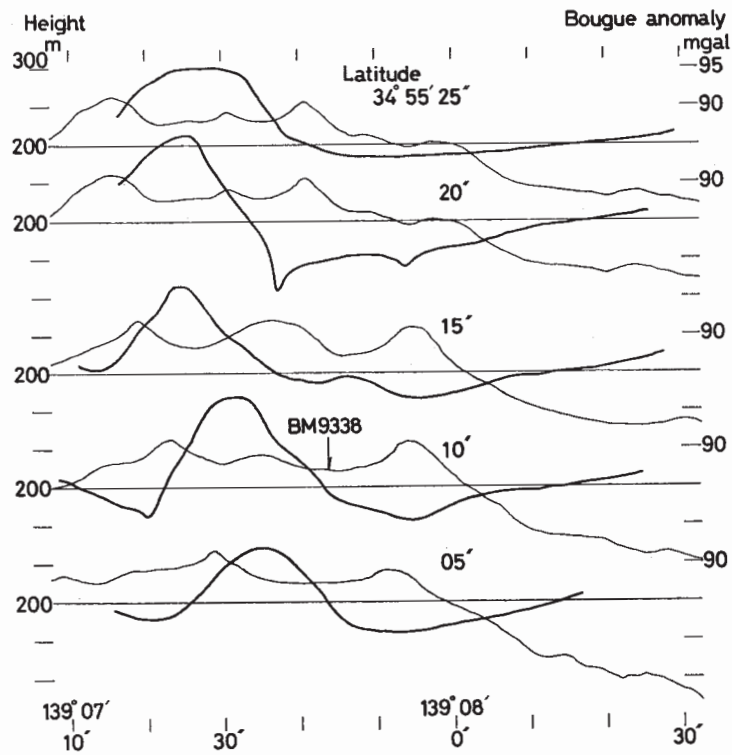
第 1 図 1 等水準点 9338 号および重力測点。白四角は 9338 号の旧点。

Fig. 1 B. M. 9338 (about 6 km south of Ito city) and gravity points.



第 2 図 ブーゲ異常 (第 1 図の四辺形の範囲と一致する) 単位 mgal

Fig. 2 Bouguer anomaly within the square region shown in Fig. 1. Unit of anomaly is mgal.



第 3 図 緯度  $34^{\circ} 55' 05'' \sim 34^{\circ} 55' 25''$  ごとの地形 (細線) およびブーゲ異常 (太線) の断面図。

Fig. 3 Cross-sections of topography (thin line) and Bouguer anomaly (thick line) along each equal-latitude line.